

令和6年度 自己評価報告書

令和7年4月2日
学) 杉原学園 松永幼稚園

1. 本園の教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが主体的に考えて活動できるような環境設定
- 裸足教育

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもが楽しめる環境	B	子どもたちが楽しみながら活動をおこなえるように環境設定をおこなった。練習が必要な行事を減らし、子どもが遊べる時間が増えた。今後は朝の選択遊びの時間を更に効果的になるよう見直していきたい。
2	個々の対応	A	ひとりひとりに合った声かけをおこなった。また、園児を否定しない声掛けも心掛けた。保護者との個人懇談も毎学期おこなった。
3	計画性	A	園児と共に月の目標を定め、それに向かって保育を進められた。また、年間指導計画から月案を作成、月案から週案を作成することに重点をおき、年間を通して連続性のある教育活動をおこなえた。
4	研修と研究	A	加盟する団体（主に公益財団法人広島県私立幼稚園連盟、福山市私立幼稚園協会）や行政主催の研修に積極的に参加をした。
5	保護者・地域との連携	A	クラスでの活動の様子をドキュメンテーションにて写真付きで発信することで、子どもの成長や課題を共有できるようにした。また、地域行事なども積極的に参加したり、図書館の利用や、東村町の方々との交流、公園での探索活動など、地域資源の活用なども昨年度に比べて増えた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	遊戯会を2学期の音楽会、3学期の生活発表会にわけたことにより、ゆとりをもって子どもたちの主体性を高める教育活動を展開できた。「Let 's enjoy Ha・Da・Shi」をテーマに、健康教育にも力を入れた。 また、教諭が子どもたちと一緒に主体的に新しい教育活動に取り組んでいく姿勢が見られ、充実した1年だった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園児の見取りを深める	園児のよい部分をたくさん見つけ、そこを伸ばせるような関りをしていく。 園児の活動を全職員でさらに共有できるように環境設定をしていく。
2	健康な心と身体	園児の発想力・想像力・制作する力は十分に身につけていると感じる一方で、運動能力に関してはやや課題があると認識している。そのため、子どもたちの運動神経の向上を目指し、週に1回は外遊びにじっ

		<p>くり取り組む時間を確保する。</p> <p>また、健康な心と体を育むため、次年度も引き続き「はだし遊び」を充実させていくとともに、園庭の環境整備にも取り組む。園庭に植えている植物などを見直し、より子どもたちが自然と触れ合える環境づくりを進めていく。</p>
3	見通しをもった教育活動	先を考え、優先すべきことなど順を考えて計画的に教育活動が展開できるようにする。
4	支援が必要な子の対応、療育施設との連携	個々の幼児（特に配慮を必要とする幼児）について話し合い、どのような配慮、支援があればよいか共通理解を図る。今までは特別支援学校の先生に指導いただいていたが、今後は園専属で相談できる心理士の先生を確保したい。
5	保護者・地域との連携	ドキュメンテーションなどで保護者と教育内容を共有できているが、今までと同様、保護者と対面で伝えあうことも大切にしていきたい。